



2022年 11月号

全国福祉保育労働組合東海地方本部
〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館405
TEL 052-881-2971/FAX 052-881-2998
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
発行責任者/塚本洋平



1面…分会運営交流会/2、3面…中央行動、
インバiew/4面…なったことに

fukuhotkで検索

これって…どうしてる?

みんなで喋ろう♪

分会運営交流会

コロナ禍で活動が難しいという状況がまだ続いている。そこで、分会役員が日々困っていること、悩んでいること、知りたいことについて、交流できる機会を、10月18日(火)、18時で「分会運営交流会」を行いました。

対面ならではのつながりを感じて

初めての企画で、参加者は8人と少数ではありますましたが、それぞれの参加者が他の分会に聞きたいことを持ち寄つてもらつたことで、いろんな話をすることができた



天白福祉社会分会
分会长神谷さん

内容としては、分会での交流企画について、分会員の決め方について、分会での討議事項の決め方について、世代間の交流の工夫についてなど、とても盛りだくさんでした。

内 容としては、自然に「うちの職場はこんなだからこんなこと要求したんですよ」といった話題も。速、分会长と共有しました。私達の分会に通じる内容もあり、ぜひ参考にさせていただきたいと思います」と感想を寄せてくれました。

参加した天白福祉社会分会の神谷さんは、交流会後の感想で、「今年3年目で、去年役員になり、今年分長になり、今年運営とかよくわからないかな? 分会長として何ができるかな?と思つてました。しかし、そんなにしつかり? しなくて、気楽に分会員と楽しいおしゃべり会! つて感じでもいいのかな? と思えました! 話ばかりではなく、コロナも落ち着いて、みんなで楽しくワイワイできるようなことがありました」

スマス会や忘年会、新年会でプレゼント企画をして繋がりを感じ合つた」という話がありました。

そのあとは、自然に「うちは職場はこんなだからこんなこと要求したんですよ」といった話題も。速、分会长と共有しました。私達の分会に通じる内容もあり、ぜひ参考にさせていただきたいと思います」と感想を寄せてくれました。

初めは、なぜ仕事の時間外にこんなにたくさん会議があるの?書名の取り組み、平和の行事:秋闇?春闇?要求書を提出?と何もわからな

いりなか分会設楽さん

そのあとは、自然に「うちは職場はこんなだからこんなこと要求したんですよ」といった話題も。速、分会长と共有しました。私達の分会に通じる内容もあり、ぜひ参考にさせていただきたいと思います」と感想を寄せてくれました。

初めは、なぜ仕事の時間外にこんなにたくさん会議があるの?書名の取り組み、平和の行事:秋闇?春闇?要求書を提出?と何もわからな

いりなか分会設楽さん

風の音

間についつい話込んでしまいました。今回

の企画で、今年3年目で、去年役員になり、今年分長になり、今年運営とかよくわからないかな? 分会長として何ができるかな?と思つてました。しかし、そんなにしつかり? しなくて、気楽に分会員と楽しいおしゃべり会! つて感じでもいいのかな? と思えました! 話ばかりではなく、コロナも落ち着いて、みんなで楽しくワイワイできるようなことがありました」

次年から執行委員になり、会議や学習会に参加して学び、保育園に勤務し、組合のことを何も知らないまま組合の取り組み、日々の保育、園の行事:秋闇?春闇?要求書を提出?と何もわからな

いりなか分会設楽さん

ま一瞬で一年が過ぎました。

次年から執行委員になり、会議や学習会に参加して学び、保育園に勤務し、組合のことを何も知らないまま組合の取り組み、日々の保育、園の行事:秋闇?春闇?要求書を提出?と何もわからな

今回は、秋闇労働組合講座に向け準備を進めてくれている実行委員のみなさんにお話を聞いてみました！

まずは自己紹介をお願いします。

鈴木 のぎく保育園分会、鈴木です。のぎくでは3年目です。(写真左上) 林 同じく、のぎく保育園分会の林です。のぎくは1年目です。(写真左下) 平林 たんぽぽ保育園分会、平林です。たんぽぽは4年目です。(写真右下) 横井 みどり菜の花保育園分会、横井です。2年目です。(写真右上)

秋闇労働組合講座 実行委員にインタビュー

実行委員をやってみてどうですか？

鈴木 2度目の実行委員です。一度目の実行委員の時も楽しかったし、今回も良い会になりそうな感じがしています。いろんな世代の悩みが知れるのがいいなと思うし、それを分会にも返していきたいなど。

林 今まで労働組合講座に参加したことがない、どんなものなかも分からずでした。でも参加してみて分かったことはあるし、いろんな話ができるいいなと思います。

平林 初参加で、もう一人の組合員と「一緒に頑張ろうね！」と励まし合ってきました。

林 私もそこかな。時間ばかり輪に入りづらいこともありますが、参加してみて、これから頑張つて

今まで各チームに分かれ交流会を何度も開催しましたが、それも踏まえ皆さんの中の『ベスト』が何でしよう？ もやつと』は何でしよう？ あなたが何でほしいなと思います。

横井 若手チームで年数も同じくらいの人が多く、同じくの世代や立場で大事だなと感じています。

鈴木 林さんがチラシを書いて、当日は自分が司会をするから、みんな来てね~って声かけます。

林 強制ではないけれど、周りの組合員をむけ誘つていきましょう？

鈴木 地域のおまつりや、バザーは時間外がつかないこと！ ブール設営や片づけにはつくけど…

林 私もそこかな。時間外なり、代休・振休なり、何か保障がほしいなと思います。

平林 給料の安さ！ 給与体系のこともあると思いますが、もう少し保障してほしいです。

横井 先輩に質問する時

鈴木 本当に質問する時

林 本当に質問する時

平林 本当に質問する時

横井 月1回の部会で伝えていきます！

鈴木 月1回の部会で伝えていきます！

林 月1回の部会で伝えていきます！

平林 月1回の部会で伝えていきます！

横井 月1回の部会で伝えていきます！

鈴木 月1回の部会で伝えていきます！

林 月1回の部会で伝えていきます！

平林 月1回の部会で伝えていきます！

横井 月1回の部会で伝えていきます！

鈴木 月1回の部会で伝えていきます！

林 月1回の部会で伝えていきます！



参加しての感想



池内わらべ分会
原さん

ない中でも、子どもたちのために保育を行つてきたり現状や、有給取得5日間の制度が運用されただけれど人が足りない現状は変わらず、有休をとること自体が保育を圧迫していること…現場の努力だけではどうにもならなかった。子どもたち一人ひとりが大切にされ、豊かな児童期を過ごす、そんな当たり前のことですが今の保育制度も話し合つてきました。

現場のことを知つてほしい、保育士の待遇を改善し、より良い保育ができるよう制度を変えて欲しい、その思いを直接訴えなくてはいけないと3人が代表で声をあげてくれることになりました。

しかし、新入園児の受け入れが決まり、保育と一緒に支えてくれる職員の退職、休職者が出て自体が厳しくなつて

中央行動に初めて参加させていただいた中で、社会福祉事業の抱える問題や現状を学ぶことがで

きました。

きました。でも厳しい声をあげないでは、この状況は変わっていかない、苦しいからこそ訴えていかなくてはいけない、3人から1人になり3人から1人になりました。

一気に制度は変わらないかもしれませんが中央行動で学んだことを職員みんなで共有しました。

1名がZoomで参加しました。

その後の厚生労働省交渉で、各都道府県の福祉職場からの貴重な生の声を聴くことができ、みなさん簡潔ではある中で、抱える問題を分かりやすく伝えてくださつていて、各職場の現状が私も目に浮かぶ様な内容でした。

どこの福祉職場でも厳しい労働状況・賃金から人材不足。加えて、配置基準の低さからくる職員一人ひとりにのしかかっている負担の大きさから浮かぶ様な内容でした。この厳しい現状を変えいくためにも、政府に今の社会福祉事業の実態をもっと伝えていかなければならぬのだと感じたとともに、今の社会福祉事業の抱える問題を発信していくことの意義を感じました。

中央行動に繋ぎ

厚労省交渉

分会から送り出し 中央行動へ

池内わらべ保育園分会では、10月31日の中央行動に向けて分会から3人を送り出することに決めました。保育の中から3人送り出しました。平日ということで、職員も感染し体制が整わ

健康のこと、近況、職員会議の場では出せなかつた思いなどなど、時間を忘れて話しました。大変なこともありました。12月は交流会がしたいな」と計画していました。12月は交流会がしたいな」と計画していました。これ機に分会員でない職員も誘つていただきたいです。「肉が食べたい！」の声があったので、お肉を楽しみに…。今後も楽しい取り組みをどんどん計画していきたいと思っています。

昨年度はコロナの状況によってなかなか集まれず、分会も200まで開催することが続いていましたが、9月は久しぶりに対面で行いました。感染対策をしつつ、みんなでおにぎりなど食べながら交流の時間をたくさん取りました。自分の

ない中でも、子どもたちのために保育を行つてきたり現状や、有給取得5日間の制度が運用されただけれど人が足りない現状は変わらず、有休をとること自体が保育を圧迫していること…現場の努力だけではどうにもならなかった。子どもたち一人ひとりが大切にされ、豊かな児童期を過ごす、そんな当たり前のことですが今の保育制度も話し合つてきました。

現場のことを知つてほしい、保育士の待遇を改善し、より良い保育ができるよう制度を変えて欲しい、その思いを直接訴えなくてはいけないと3人が代表で声をあげてくれることになりました。

しかし、新入園児の受け入れが決まり、保育と一緒に支えてくれる職員の退職、休職者が出て自体が厳しくなつて

中央行動に初めて参加させていただいた中で、社会福祉事業の抱える問題や現状を学ぶことがで

きました。

今年度新しい分会員2名を迎えました。新しい分会員もつぶやきや疑問を出しやすい雰囲気を心がけて、みんなが組合の良さを実感できるようになるといなあと思いなが

た。新しい分会員もつぶやきや疑問を出しやすい雰囲気を心がけて、みんなが組合の良さを実感できるようになるといなあと思いなが

地本カルトクイズ

もっと東海地本のことを知つてもらおうと出来たコーナー！

【第42回の正解と当選者】

問題と正解

1問：分会に参加しやすくする工夫は？（自由記述でした）

2問：「平和こそ〇〇の〇〇」とは？ 最大の福祉

3問：11~12春闘の一年をかけて討議し確立した統一要求は施設の運営に関わる取り組みは福祉保育に必要な専門性と捉え、あり方について労働組合と協議していくこと

当選者 まつかぜ分会 高田裕美さん、中山和佳子さん

～応募者の感想を紹介します～

若い人たちも働きやすい職場づくりをするためには、統一要求にあげた項目を確実に前進させることが必要と感じます。

今の時代にあった「ワーカーライフバランス」ができる職場作りが実現できることを期待します。（まつかぜ分会：中山さん）

【第43回目カルトクイズ】

第1問：分会運営交流会で感じた産別組合の強みは？

（今月紙面）

第2問：屋外での県民集会は何年ぶり？参加者は約何人？

（今月紙面）

第3問：1999年初めて行われた県民集会の参加者は約何人？

（25周年誌）

応募方法：「件名」にカルトクイズと記入し、回答と、今月号を読んだ感想を一言記入してご応募下さい。

FAX : 052-881-2998

E-mail : fukuhotk@onyx.dti.ne.jp

正解・不正解を問わず、応募者のメッセージを紙面に掲載し紹介します。正解者のうち抽選で3名に地本「風光る」から

1,000円の図書カードを進呈します！

応募締め切り：12月末日まで。

当選者は、1月の旗開き（1/6）で発表。

【今後の重要日程】

11月11日（金）

なくせワンオペ中央行動

11月20日（日）10:30～白川公園

子どもたちにもう一人アクション

12月2日（金）昭瑞天支部大会

12月9日（金）尾張支部大会

熱中港支部大会

千種名東支部大会

中中村東支部大会

12月10日（土）13:30～16:30

労働組合講座@労働会館

12月16日（金）名南支部大会

1月6日（金）旗開き

もっともっと！
推し要求討議！

「なかつたことにさせない」
りバイバル！

「父母との共同の取り組み」 つけて…

職員がやるのは当たり前…

意見が出ました。

地本の統一要求にも毎年項目

として入っているが、団交をし

て自分たちの思いを理事に伝え

ないと変わらないのではないか、

という話もしました。

コロナ禍がずっと続き、
父母との取り組みについて
の議論に時間がかかりたり、
感染防止のため、父母も関
わっていた準備や当日の運

営も職員が担うことが増え、
職員の負担が増してしま
た。その上、"職員がやる
のは当たり前"と父母に思
われている雰囲気もあり、
より負担を感じていました。

理事に伝えて…

でもこの件について、以前当
時の園長に話をした時に「認可
園になる前の共同保育所では、
やつてきました。仕事扱いにするの
はおかしい」と言われたことが
あって理事側に言っても変わら
ないかもという意見もありまし
た。

今后は部会などで行事など取
り組みの話をする時に、父母に
いかに自覚をもってもらうか、
父母の力を引き出すかが大事に
なってくると思います。

統一要求はこの父母との共同
の取り組みのことをうの分会
の推し要求にしたいと思います。

報告：まつかぜ分会

【編集後記

それでも若い分会員から「理

事に

心も体も休まひづつ
らい」「時間外で行事
に出た場合は手当てを
出してほしい」などの
意見が出ました。

事例に言つても変わらないなり、
まずは取り組みのやり方を見直
すことや、父母に「取り組みは
していること」を理解してもらつ
たらどうか」という意見が出さ
れ、園長から父母の代表が集ま
る運営委員会で話しをしてもら
いました。その時の父母の反
応は、父母と職員が平等で関わ
っているということは理解してい
るメンバーばかりなので、「わかっ
てるよ」というような感じだつ
たそうです。

先日の県民集会に参加しました。
忙しい中でも、みんなの声を集めて、
県に届けようと各分会の旗が青
空の元にはためいていました。暑い
くらいの日差しの中で、どの人も壇
上で切実な訴えに同じ思いでうな
づいていました。コロナ禍で、
福祉が必要な立場の人へのしわ寄せ
が酷くなっています。エッセンシャル

ワーカーが倒れないために国が責任
を果たしてほしい、連帯が分断され
ないようにしたい、など様々な立場
からの発言がありました。集会後の
スタンディング宣伝行動では、道行
く人々はこちらを気に見ててくれ
たり、目線をそらされたり、様々な
反応でしたが、知らない人もこう
して地道に伝えていくことが大切だ
よなと改めて感じました。【s・s】

分会長 安藤光枝